

創造的復興に向かって

— 被災地から 新たな健康づくりの挑戦 —



宮城県知事 村井 嘉浩

不適切な生活習慣がメタボリックシンドローム・生活習慣病の要因に！

不適切な生活習慣

- 1日当たりの平均**歩行数** (H24国民健康・栄養調査)
男性 6,479歩 (全国7,791歩, 目標9,000歩)
- 1日当たりの平均**塩分摂取量** (H24国民健康・栄養調査)
男性 11.7g (全国11.3g, 目標9g)
女性 10.1g (全国9.6g, 目標8g)

生活習慣病予備群

- 成人の**BMI(肥満度)の平均値** (H24国民健康・栄養調査)
男性 24.1(全国:23.6) 女性 23.0(全国:22.5)
- 【参考】児童・生徒の肥満傾向児の出現率 (H28学校保健統計調査)
男子(小6) 17.76%(全国:10.08%, 全国2位)
小学生男子はほとんどの学年で全国トップ10



生活習慣病による要介護・死亡

- **三大死因**の年齢調整死亡率(順位:高率順) (H27人口動態調査)
がん 男性160.5(全国30位), 女性84.5(全国29位)
心疾患 男性65.1(全国22位), 女性30.9(全国36位)
脳血管疾患 男性43.0(全国13位), 女性23.7(全国11位)
- **平均寿命と健康寿命** (H22都道府県別生命表、H25厚生労働科学研究)
平均寿命 男性79.65歳(全国22位), 女性86.39歳(全国23位)
健康寿命 男性71.99歳(全国5位), 女性74.25歳(全国31位)
健康格差 男性7.66年(全国8位), 女性12.14年(全国28位)

子どもから大人まですべてのライフステージで課題・発見→対応が必要
(将来の医療費・介護費増加の恐れ)

宮城県民の健康状態・生活習慣



歩かない人が多い
【男】全国ワースト1位

飲酒者が多い
【男】全国ワースト8位

塩分過剰
【男】全国ワースト14位
【女】全国ワースト8位

肥満が多い
【男】全国ワースト9位

写真提供:河北新報社・仙台放送
(みやぎカイゼンプロジェクト)

メタボリックシンドローム該当者・予備群割合

平成20年度

多い → 46位



6年連続!
ワースト2位

平成26年度

45位

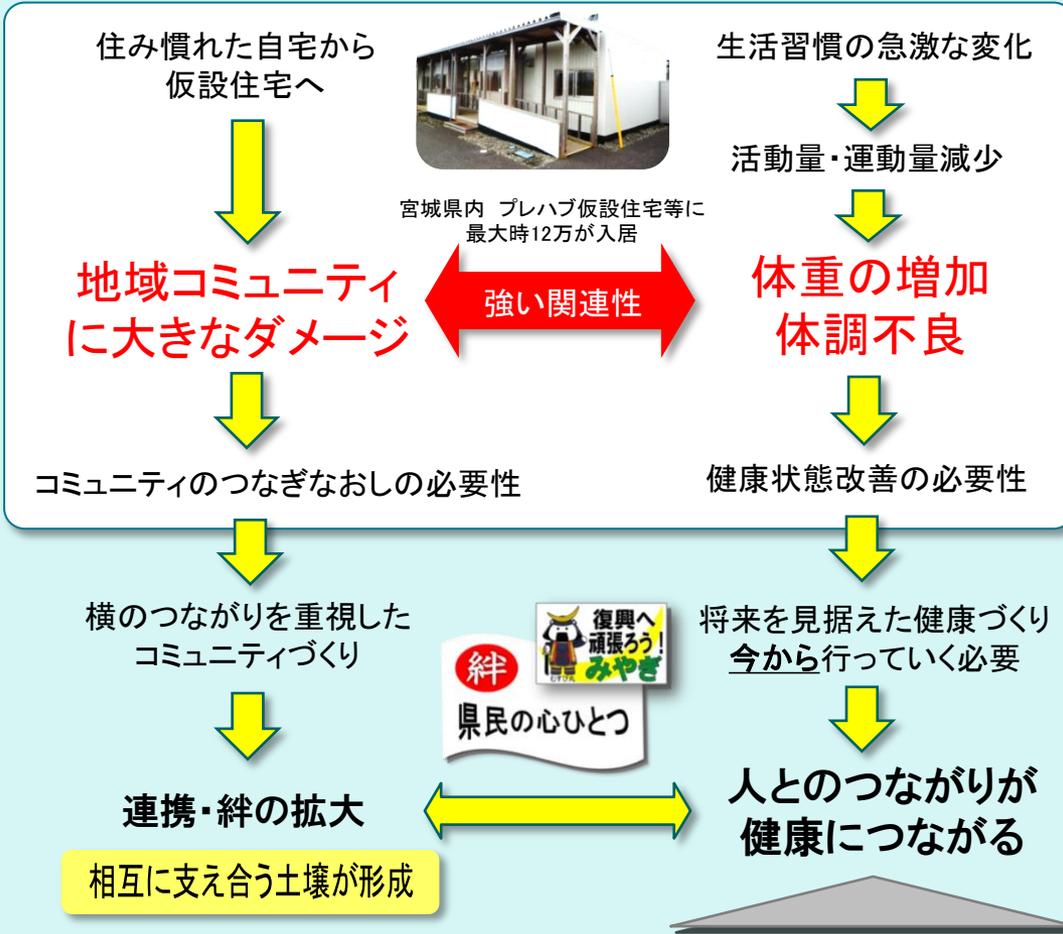
H26年度ワースト3位

コミュニティ

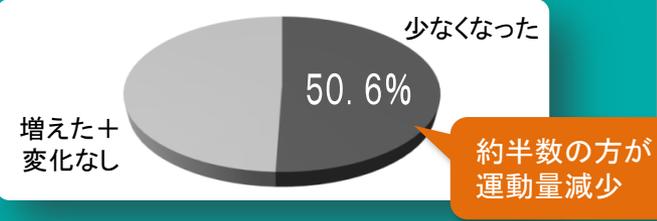
健康状況

被災者の健康状態

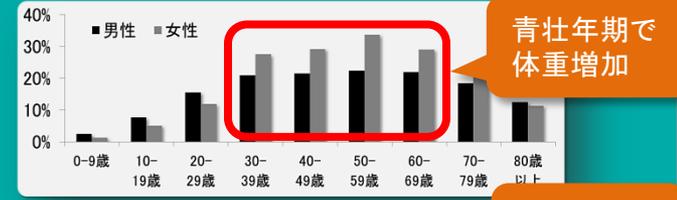
(平成24年度プレハブ仮設住宅健康調査結果(宮城県調査))



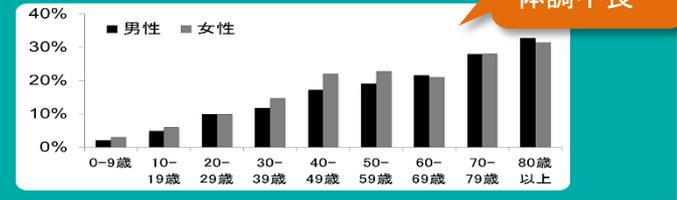
震災前に比べて日頃の生活で体を動かす機会



震災時(前年)より体重が増加した人の割合

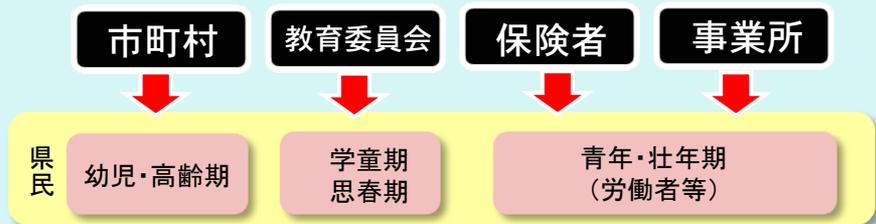


体調が悪い+良くない人の割合



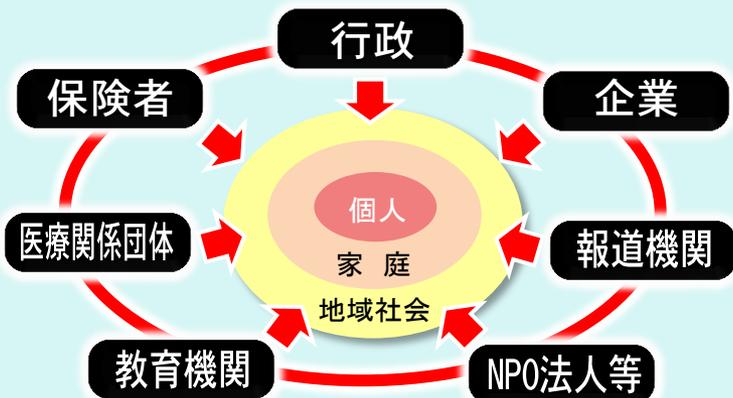
産官学連携

健康づくりの鍵は「連携」オールみやぎで



保険者・企業・医療関係団体等と連携し輪でつなぐ

新たな考え方



スマートみやぎ健民会議 H28.2設立

会長(知事)



顧問(東北大学 辻教授)

(日本健康会議実行委員)

幹事会

庁内連絡調整会議

(部局横断による連携強化)

会員団体

現在199団体が会員登録

市町村等行政, 医療保健団体, 医療保険者・企業, 教育機関, 地域団体, 報道機関等

目的

健康みやぎの実現を目指して関係者が連携し、全ライフステージを通じた切れ目のない健康づくりの支援体制を構築する。

主な活動

会員同士の情報交換
企業等先進的取組を表彰
報道機関との連携による情報発信
企業向けセミナー等による健康経営の普及
市町村との連携により健康づくりの推進



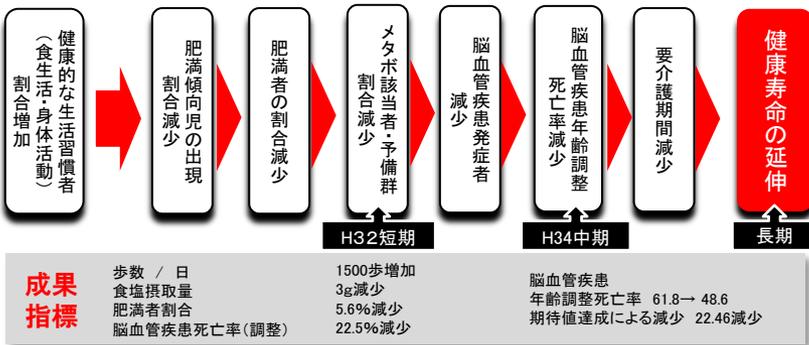
報道機関とのコラボ企画

いろいろな力を同じ方向に!

具体的な目標設定

関係者で共有

課題解決のプロセスの明確化



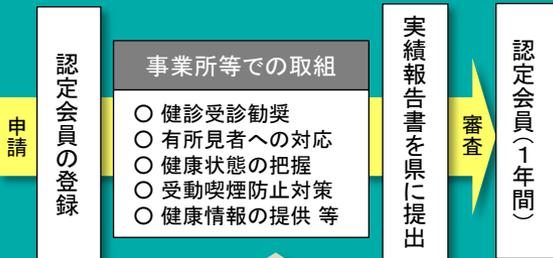
第2次みやぎ21健康プラン

- 栄養・食生活
- 身体活動・運動
- たばこ

重点的に取り組む3分野

優良会員制度の創設

優良会員認定の流れ



がんばる中小企業応援資金との連動
(中小企業融資制度の活用)

健康づくり優良団体等表彰制度の創設



スマートみやぎ健民会議大賞(表彰)
地域振興と健康づくりのコラボ



スマートみやぎ健民会議 会員団体

一般会員

地元中小企業等の健康経営の
推進を主眼に

優良会員

一定の基準を満たした会員

スマートみやぎサポーター 制度の創設

応援・協定企業

健康知識の普及啓発、栄養・食生活の改善
に向けた支援など

**企業のイメージ向上
CSR**

(企業の社会的責任・貢献活動)

県で広報

(例: イベント時に展示ブースを提供)



〇仙台・宮城観光PR
キャラクター むすび丸

保険者等(協会けんぽ・健保連)との連携

メタボ対策の啓発ポスターの作成



「職場健康づくり宣言」制度



予防・健康づくり協働推進宣言



データヘルス・予防サービス見本市



産官学連携による新たな取り組みの推進



日常的に健康づくりが実践できる
社会環境の整備

みやぎのデータヘルス推進事業 (科学的根拠に基づく施策の推進)
全ライフステージへの切れ目のない支援体制の構築

だれでもいつでも
気軽に楽しく

子育て世代を対象に

日常的に健康づくりができる社会環境の整備



©仙台・宮城観光PR
キャラクター むすび丸



県内最大級のショッピングモールに「みやぎヘルスサテライトステーション」を開設

【オープニングセレモニー出席者】

知事、名取市長、県医師会長、県歯科医師会長、県看護協会長、県栄養士会長、
健保連宮城連合会長、協会けんぽ宮城支部長、仙台大学理事長、イオンリテール(株)東北カンパニー支社長 ほか

健保連宮城
連合会長

協会けんぽ
宮城支部長

県看護協会長
県栄養士会長

県内大学

辻教授
(東北大)

宮城県歯科
医師会長

宮城県
医師会長

知事

企業

名取市長

買い物ついでに気軽に健康づくり

モールウォーキング



情報発信コーナー



民間の力

関連企業

大学

各団体

集結

行政だけではなく

産官学連携で推進

健康みやぎの実現

オールみやぎで健康づくりを推進

スマートみやぎ健民会議を基盤とし、産官学一体となった新しい健康づくりを積極的に推進します
全ライフステージで切れ目のない支援体制の構築を目指します

県民一人ひとりが生きがいを持ち充実した人生を健やかに安心してらせる「健康みやぎ」の実現

健康寿命の延伸

将来の医療費・介護費の抑制

県民の健康も震災前より、
良い状況を目指して

真の健康先進県へ

オールみやぎで

創造的復興

復興

健康

民の力

絆
パワー

